

2006年度（平成18年度）第1回理事会記録

日 時：2006年（平成18年）3月28日（火）15：30～16：45

場 所：北里大学相模原キャンパスL3号館1F会議室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、石村和敬、井出吉信、内山安男、大野伸一、近藤尚武、塩田浩平、菅沼龍夫、杉浦康夫、高野吉郎、竹内義喜（以上、理事）、仙波恵美子、中河志朗（以上、監事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、金子ひとみ（以上、口腔保健協会）

欠席者：藤本豊士、脇田 稔（理事）

I. 理事長挨拶

第111回総会・全国学術集会を企画・担当して頂いた山科会頭を始めとする組織委員会の先生方への謝辞に続き、解剖学会の運営は順調であるが、研修の義務化など周囲の状況は予断を許すものではないと指摘した。次いで学術会議の新体制について触れ、従来の研連に相当するボトムアップ型の組織として形態科学・細胞生物医科学分科会を立ち上げたことを報告した。そして理事の先生方に行政レベル、マスコミなど様々な面で形態科学の重要性を訴えて頂くよう要請するとともに、解剖学会としては形態学の一層の振興という方向で活動をおこなってゆく方針であることを示して挨拶を終えた。

II. 山科正平第111回日本解剖学会総会・全国学術集会会頭挨拶

山科会頭より歓迎の挨拶がおこなわれた。

III. 議事録署名人の選任

議事録署名人として石村和敬、井出吉信両理事が選任された。

IV. 会議記録の確認

2005年度（平成17年度）第4回理事会記録、同摘録、同議事録（案）が確認された。

V. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

（1）年会費納入状況（長期未納者の除名について）

標記につき説明がおこなわれ、4年未納者については第111回総会・全国学術集会会場に掲示の上、除名の手続きをとることが報告された。

（2）申請による学術評議員および解剖組織技術士功労賞候補者について

資料の郵送による審議、投票のおこなわれた標記議案について報告がおこなわれた。申請による学術評議員は8名の申請者全員について過半数以上の得票があり、総会・学術評議員会に上程されることが決定された。また同時におこなわれた功労賞候補者2名についての審議も全理事の承認が得られ、同様に上程

される事が報告された。

(3) その他

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」についての意見募集に関し、妹尾学術委員長がとりまとめた意見を文部科学省に提出した旨の報告がなされた。

2. 編集報告 (柴田編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌及び ASI 刊行報告

両誌の平成17年度、18年度の刊行状況につき報告がおこなわれた。なお、ASIについては第81巻1号から Current Contents (Anatomy & Morphology) に掲載が決定し、インパクトファクターもつくので、引用を増やすよう要請がおこなわれた。また、平成18年4月からオンライン投稿システムを導入する旨、報告があった。

3. 企画・渉外報告 (河田企画・渉外担当理事)

(1) 第111回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

準備は順調に進み、特別講演2題、シンポジウム24件、パネルディスカッション、チュートリアル各1件、一般講演480題と内容豊富な会となったことが報告された。

(2) その他

- ① 日本医学会：会長選挙で高久史磨現会長が再選された。また医学用語集の出版準備中で、用語の統一を目指しており、解剖学会にも意見を求められたので用語委員会で対応している。なお、2011年開催の第28回医学会総会は東京地区の担当で、国立病院機構矢崎理事長を会頭として実施されることになった。
- ② 生物科学連合：基礎的な生命科学系学会を束ねている標記連合に関し、事務局が設置され、解剖学会も分担金を支払うことが報告された。
- ③ 第5回アジア太平洋解剖学会議 (APICA)：2008年に開催予定の標記会議の開催地についてはイランが有力ではあるが、政治情勢も不安定なので今後様々な情報を集めて決定してゆく旨報告があった。
- ④ 平成18年度日米解剖学会合同シンポジウム：今年度は米国側の担当で、4月にサンフランシスコで再生医学をテーマとして実施される予定である。日本解剖学会としては城倉浩平助教授 (信州大)、出澤真理助教授 (京都大) を海外交流委員会に諮って派遣することを決定した。

4. その他

週刊ポストに解剖に関するかなり興味本位の記載があったことが献体登録者からの連絡で明らかになった。事実関係は関係大学で調査中であり、解剖学会としては特にコメントするものではないが、理事はその事実について周知願いたい旨、報告があった。

VI. 審議事項

1. 平成17年度事業報告の件

①学術集会開催状況②会議開催状況③学会誌刊行状況④委員会報告⑤研究の奨励及び業績の奨励⑥内外学術団体との協力ならびに連絡⑦技術士認定、以上7項目について総会/学術評議員会資料をもとに説明があり、審議の結果承認された。

2. 平成17年度決算および業務監査報告の件

澤田会計担当理事より平成17年度決算について説明がなされ、また公認会計士による監査結果が報告され、承認された。次いで、仙波監事より業務監査結果の報告がおこなわれ、承認された。

3. 平成18年度予算および事業計画の件

平成18年度予算について澤田会計担当理事から、事業計画について高田庶務担当理事から説明がなされ、承認された。

4. 第113回、第114回総会・全国学術集会開催校

第113回総会・全国学術集会（平成20年開催）については2大学より開催希望が出されたが、審議の結果、大分大学が担当することが決定された。また第114回（平成21年開催）については岡山大学が担当することが承認された。